



05 “洗いたて”の石鹸の香り

いまや“セクシー”の解釈は多種多様だが、女性の心と体に沁められた神秘性は不変。つき詰めるほどに爽しく、清らかな感性を思わせるサボンやランドリーの香りを誰にも甘いも織み分けた大人の女が纏う。そのギャップ、さりげない包容力こそ究極のセクシー。



1. 日本朝上陸のシャボンの香りは、トップリのお日様とさりげない感性を内蔵しているかのよう。ひと皮まで剥き出しの自分に、ピクシーアップスプレー コロンズプレー ビュアソープ [30ml] ¥2,500(2月28日発売) / Demeter(フィッツコーポレーション) 2. スイートムスク、イランイラン、シトラス、パチョリの上質なエッセンシャルオイルを配合した、リネンウォーター。お気に入りの洋服にオンして、アタリートを香りを染めたい。LD ファブリックフレッシュ Classic [250ml] ¥2,310 / The Laundress(アントレックス) 3. 洗滌したてのリンネのような香り+肌のほもりのような柔らかさ。セクシーが両立するセブにも愛用者が多い香り[ウォームコットン]に特選のボディローションが登場。ソフトボディローション ウォームコットン[177ml] ¥4,200(2月発売) / Clean(わかば) 4. シトラスグリーンの清潔感。スパイシーワッフルの甘さと刺激。タイムスクの染み入るような透明感。上質で仕立ての良いシャブをモードに纏う女性のための香り。シュブリーム オードパルファム [50ml] ¥7,350(2月18日発売) / Elegance(エレガンス コスメティックス)

04 メンズコスメも 使いこなせる女へ!

仕事モードの時、初対面のひととの会食など。デキる女性には“甘ったるさ不要”な場面も多々ある。イヤミのない自信・しなやかな強さ・肉やかな面持ちを取り込むべく、ここぞという時には、メンズコスメを活用! さっぱりと身を清めることでパフォーマンスを向上。



1. 辛口のジンジャーを桂にシトラスやローズマリーを合わせて。朝シャワーで使えば、積極的モードに! ディオール オム スゴーズ シェアワール ジェル [150ml] ¥4,200 / Dior(パルファン・クリスチャン・ディオール) 2. 環境汚染とは無関係の2億3千万年前の海水の成分が結晶化したドゥフ泡。濃厚な保湿効果やトウガラシエキスで発汗を促しつつ、デオドラント効果も発揮。バスソルト [40g] ¥357 / Proudhon(アラウドメン) 3. “白”のイメージを転写したオリエンタルな香り+ホリホリの高級感。アリュール オム エディション プランシエ アンチシェイム アフターシェイヴ モイスチャライザー [100g] ¥6,825(2月10日発売) / Chanel(シャネル)

06 “インドの伝統医療”がキーワード

WHO(世界保健機構)で病気の予防の医学として正式に推奨されている、インドの伝統医療「アーユルヴェーダ」。そこで太古の昔より重宝されてきた生薬の類は、優れた鎮静効果や滋養効果を持ち、最先端科学による“対自然派コスメ”開発において欠かさない存在に。

1. 植物繊維の性質技術で精製した、化学成分の毒性を消去するスペシャルアラビアゴムやアムラを配合。植物も育ってしまう安全性。栄養分も豊富に含む。ザ シャンプー [380ml] ¥6,300 / Shahram Mesri(ワズボリープラス) 2. インドで“宇宙最良の樹”といわれるビタミンE豊富なアムラ。肌力を引き出すシベリア産の植物ロディオラで輝かす。ユーストピア コレクティング セラム [30ml] ¥7,350 / Origins(オリジズ ナチュラル リソーセス) 3. 3000年前から東インドや中国で用いられてきた薬草センテラ(ツボクサエキス)が敏感になった肌を落ち着かせ、アロエベラとハチミツでしっとりさせる。DS センテラ スキン サルブ [75ml] ¥6,825 / Kiehl's(キールズ)

